

第135回（平成20年度第10回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成21年4月15日（水）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 4階第4研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、木村 徳善
（理事）徳本 進、金子 理人、国島みどり、荻野 恭宏、安藤 努、
百海 廷、岡本 洋一、清水 忠、小池 光、斎藤 幸雄、
吉岡 去私、大澤 康之、平賀 淳夫
欠席理事：（会長）河野 洋平
（書面票決）（副会長）山田 隆、佐藤 嘉彦
（競技本部長）菊地 富士夫
（理事）吉野 大成、岡田 良平
4. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 岡本 洋一理事、平賀 淳夫理事を選出
7. 書記： 宮崎 弘一広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部

(1) 報告事項

①チャレンジカップ第2戦鹿沢大会について

吉岡理事より、チャレンジカップ第2戦鹿沢大会・クラブ対抗スキー大会兼マスターズ第2戦が4月3日から5日まで開催され、派遣役員8人、参加選手380人（2日間延べ）との報告がなされ、了承された。

(2) 審議事項

①平成21年度戸倉3連戦日程について

吉岡理事より、来年の戸倉3連戦の開催日程を1月第4週では国体申込締め切りに間に合わない為、平成22年1月15日から18日までに変更したいとの提案がなされ、他の行事との調整もある為カレンダー委員会で調整することを前提に承認された。

2) 教育本部

(1) 報告事項

木村本部長から以下の行事につき別紙のとおり報告があり、了承された。

①SAK関係

- ・車山V行事
- ・競技本部主催チャレンジCUP第2戦鹿沢大会（コラボ行事）
- ・教育部会

②SAJ・南関東ブロック関係

- ・全日本パトロール技術競技大会
- ・南関東シニアスキー技術選手権大会
- ・SAJ デモンストレーター合宿
- ・全日本教育本部会議

③行事予定

教育本部拡大会議が5月30日に開催予定との報告があった。

野地副会長から、車山V行事の中における特別理論講習の開催経緯について質問があり、木村本部長から、指導員研修会の理論の講師を佐藤副会長にお願いしたこと、百海理事よりその経緯は、川崎の理論講習に参加できない方のために開催したことが説明された。その後、片専務理事よりその位置づけを明確にすることの助言をいただき、今後検討することになった。

(2) 審議事項

木村本部長から以下の事項につき別紙のとおり提案がなされ、①については、書類申請手続きがきちんとされているか確認して、問題がなければ次回再提案することで承認された。

- ①スノーボード指導者規定第13条、第25条に基づく、特別合格による指導者資格推薦について
- ②行事運営（スキー専門委員研修会、スキー強化行事）の中止について

3) 総務本部

(1) 報告事項

①慶弔関係 なし

②資金運用状況

金子理事より、3月末現預金残高は前年度9,382,094円に対して、平成20年度は8,334,901円との報告があった。また、今年度の決算見通しは、4月、5月について収入合計2,110,000万円に対して支出合計5,185,000円、差異は3,075,000円となる。昨年末残高4,221,000円に対して5月末見通しは2,731,000円となり、1,490,000円のマイナスになることが伝えられ、各部において戻入金、未収金等の確認をお願いしたとの要望があり、了承された。

③登録状況

荻野理事より、3月末会員登録総数5624人、団体登録数263でともに前年同時期から会員登録数でおよそ100人の減、団体登録数で若干の減と報告があり、了承された。

④各種委員会

以下のとおり各理事から報告があり、了承された。

イ) 協賛会員拡大委員会（荻野理事）

協賛企業40社 協賛合計額378万円（未収分を含む）との報告があった。

ロ) ハンディキャップ委員会（国島理事）

第14回障害をもつ人のためのスキー教室を3月28日～29日まで車山高原スキー場で実施。参加者は合計91名（スキー教室参加41名、家族・介助者9名、ボランティア講師34名、ハンディキャップ委員6名、理事1名）、29日に検定実施し、結果は別紙報告のとおり。

また、4月3日～5日まで鹿沢チャレンジカップに参加。参加者は延べ10人との報告があった。

ハ) 北海道委員会（代：上田本部長）

来シーズンは12月15日から20日までの日程でカレンダー委員会において調整を行う。

二) 広報委員会（安藤理事）

57号の発行に向けて3月18日から委員会を開催している。予算面や昨年11月に理論研修会でのアンケートを踏まえて、発行方法については審議事項で審議をお願いしたい。

ホ) 70周年記念事業について

- ・記念誌作成委員会・・・計画では、野地副会長を委員長、安藤理事を副委員長とし、委員は広報委員全員で体制を構築する。既に記念誌の概要について検討した。発行予定部数1000部、10月20日に発行する。
また、ダイジェスト版を9月の手続要綱説明会と式典当日に配布を行う。

- ・70周年記念海外事業・・・事業案は別紙のとおり（カレンダー委員会で調整）

ハ) 財務委員会

金子理事より、基本財産の運用について、毎年収入が確保できる体制の中で行う方法を検討中。

ト) 規約規程委員会

徳本事務局長より、4月8日に第2回の委員会を開催。寄付行為の変更、役員選考規程、ブロック規程の見直し等を議論しており、5月14日開催の委員会において、これら諮問事項について結論に至ればと報告があった。

⑤事業報告書作成について（配布資料参照）

徳本事務局長より、別紙の平成20年度事業報告書作成時のお願いをマニュアルとして行事報告書の作成要領の説明があり、了承された。

⑥常務会報告について

金子理事より、4月9日に第3回常務会開催した。議題は次期会長問題、資金運用方法、新法人化問題、70周年記念事業等について意見交換を行ったことの報告があり、了承された。

野地副会長から補足として、現会長の河野氏には、70周年記念式典まで今期の会長を受けてもらっていることが伝えられ、今後の会長選任にあっては、著名人または組織の中から選出したらどうか、決定に至らない場合、代行制で次のステップへと様々な考え方があったが、常務会の方向性としては、知名度のある方を重点に調整していくこと、そして10月3日の記念式典において河野会長から次期会長へ上手く引き継がれることを期待したいとの報告があった。

⑦評議員選出について

徳本事務局長より、3月16日に各協会あてにH21～22年度の評議員選出依頼を送付した。提出締切りは4月24日との報告があり、了承された。

⑧顧問・参与・協会長会議（徳本事務局長）

徳本事務局長より、顧問・参与・協会長会議を4月23日に開催予定。現在の参加者は20名で、このうち16名が懇親会参加予定との報告があり、了承された。（理事は含まない。）

(2) 審議事項

①平成21年度執行方針案について（配布資料参照）

片専務理事より、別紙の執行方針案について説明提案がなされ、承認された。

説明後、競技について上越国際の会場費は非常に高い。それを単純に鹿沢へ移せば、120～130万円が浮く。今後どうするかと云うと、値下げ交渉を行う必要があり、それができない場合は鹿沢へ移すことも考える。しかし事業がその会場に集中しても好ましくないため、慎重に行いたい。また、総務については細かな効率化を検討するようにお願いしたいとの要望があった。

そのあと、上田総務本部長より、臨時理事会が入ることが伝えられた。昨年は、本理事会で専務方針が出て、時間がないので常務会で一任をもらい、予算案の集約・各本部方針の確認を行っていたが、大幅な行事の見直しがあり、従来、常務会が行っていたことをこの臨時理事会で行いたい。それまでに行事の精査をするようにとの提案がなされ、承認された。

②第20回春季評議員会にかかる予算案等の資料作成について

徳本事務局長より、別添の「第20回春季定例評議員会資料作成について」の日程表に従って、事業計画、予算案等を作成・提出をお願いした。最終的には、4月30日（木）開催の臨時理事会で承認させていただき、その後、5月30日（土）の評議員会の開催に至るようなスケジュールで進めていくことの提案がなされ、承認された。

③平成21年度予算作成ガイドライン（案）について

金子理事より、予算作成ガイドラインは平成19年度の実績をベースにして、本年度なくなった行事等を削除し、作成したものであると説明があり、その後、次のような説明提案がなされた。総務本部については、指導員研修会前納分（1100人分）を事業収入として計上している一方で、新公益法人化への対応として行政書士等へ100万円近くの支出を見込んでおり、それにより、収入2250万円に対して支出2350万円となり、100万円近くのマイナスになっている。これを収益のところで稼ぎ、支出を抑えていくことにより予算組みをしていくことになる。

教育本部に関しては、指導員研修会前納分（１１００人分）は残るが、その分が減ることになり、収入１９８３万円に対して支出２１０４万円となり、１２０万円のマイナスになるが、それをプラス１５０万円まで改善してもらいたい。ここまでみると、合計で２７０万円までの改善を考えてもらいたい。競技本部については、収入１４３０万円に対して支出１７３０万円となり、３００万円のマイナスとなっているが、それをなんとか１５０万円を改善していただき、１５０万円マイナスまでに抑えていただきたいとの提案がなされ、承認された。

④SAKだよりの発行について

安藤理事より、財務上及び皆様からの要望により、第５７号より奇数号について印刷配布せず、Web 公開とすること。これにより印刷費だけでなく、郵送費も節減できることになる。しかしながら、偶数号については紙ベースで発行をするという提案がなされ、野地副会長よりSAKだよりの奇数号が紙ベースでなくなることに對して、Web 上で閲覧できない会員のための措置をとる必要があるのではないかととの質問に對して、安藤理事より、印刷費をかけずに紙ベースのものを検討したいとの回答があり、承認された。

⑤今年度決済見込みと対策について

上田本部長より、決算見込みとして教育本部の行事の中止、SAK だよりの一部を Web 公開にすること、決算作業と戻入を早期に行うこと、そして場合によっては、積立金の停止なども考えていく必要があることを伝え、理解を求めた。また、片専務理事より、競技本部では青少年の育成基金で対応していることや上越国際での経費削減交渉などが対策として加えられた。これらの対策により１４９万円のマイナスはほぼ改善される見通しが伝えられ、同時にその遂行について関連各位の協力を強く求める旨の提案がなされ、以下の意見交換が行なわれたあと、承認された。

野地副会長から次のような提案があった。執行方針のなかで具体的に１から５まで重点施策に入っているが、財政の健全化の次から名称だけになっている。例えば、２は組織運営の充実強化、３は事業運営の改善（改革）、４は７０周年事業の開催、５は人材育成の重視などとしたほうが、整合性がとれると思うがどうかとの内容であった。

また、顧問・参与・協会長会議について、具体的な進め方を確認するよう指示があった。それに対し、片専務理事より、前述の会議の前倒し理由は２つあり、ひとつは会長問題、そしてSAJの問題では山田氏の動きがあること、これは県連とは切り離しをしたが、顧問・参与・協会長会議では報告義務があるとの立場に立っていること、また県連事業のかんがりの見直しを行うことのSAK報告、これらが会議の３本柱となることが伝えられた。さらに６月末の顧問・参与会議は中止することが報告された。

⑥７０周年当日式次第案、記念事業の実行計画案について

上田総務本部長より、別紙の「７０周年記念式典 式次第（案）」、「SAK 創立７０周年記念事業の実行計画（案）」に基づき、記念式典と祝賀会のプログラム内容の説明が行われた。

その後、徳本理事より、「SAK 創立７０周年記念事業の実行計画（案）」の詳細説明が行われ、その中で「SAK 創立７０周年記念事業の実行計画（案）」の記念式典の実施の８）の式典運営について１０／３式典が１１月の欄に掲載されているのを１０月に訂正すること、改めてこの行事への各理事の協力を求める旨の提案がなされ、承認された。

４）その他

①神奈川県体育協会平成２０年度第２回評議員会報告について

野地副会長より、別紙の資料により、３月２１日に県立スポーツ会館で開催された神奈川県体育協会平成２０年度第２回評議員会の報告が行われた。

②プレ監査日の変更について

内海監事より、プレ監査日を４月２２日から４月２０日への変更について、了承された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成21年 4月 29日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印